

平成 22 年 7 月 15 日

住まいづくり支援建築会議 情報事業部会議事録（案）

日時：平成 22 年 7 月 14 日（金）18 時 30 分～20 時

場所：本会 304 会議室

出席者：部会長 小檜山雅之

主 査 水津牧子，山本洋史

幹 事 加藤晃敏（記録）

委 員 楠山登喜雄，橋本彼路子，平田京子，吉川徹

■資料

No.1-1 2010 年 1 月 20 日 情報事業部会議事録（案）

No.1-2 住まいづくり・情報事業部会、戸建住宅分科会、サステナブル住宅分科会 名簿

No.1-3 情報事業部会の活動報告

No.1-4 2010 年度 住まいづくり支援建築会議運営委員会活動計画案、2010 年度予算原案

No.1-5 日本建築学会住まいづくり市民セミナー@富山のチラシ、予算書（案）

No.1-6 山本主査プレゼン資料

■審議

1. 前回議事録（資料 1-2）

- ・承認された。
- ・議事録は前年度と同様、ホームページにて公開する。

2. 7 月 14 日運営委員会の報告

- ・服部岑生委員長が重任。宇野求委員、松村秀一委員、水津牧子委員の 3 名が幹事に選任された。
- ・調査事業部会は廃止され、部会外に「関西支援実行委員会」と「市民セミナー実行委員会」が新たに設立された。

3. 部会・分科会名簿について（資料 1-2）

- ・情報事業部会全体では、小檜山部会長を含めて 12 名、戸建住宅分科会は水津主査を含めて 5 名、サステナブル住宅分科会は山本主査を含めて 7 名の体制で進める。新規メンバーは、引き続き募集する。

4. 2010 年度活動報告（資料 1-3）

- ・3 月 17 日全体会議にて資料のとおり報告。

5. 2010 年度事業計画・予算原案について（資料 1-4）

- ・今年度の情報事業部会では、戸建住宅分科会、サステナブル住宅分科会、市民セミナーのサポート、ホームページのメンテナンスの 4 つの活動を行う。

- ・今年度の部会予算は運営委員会にて 29 万円で承認された。
- ・上記 2 分科会の体制による情報事業部会の活動は 2010～2011 年度の 2 年間実施する。
- ・これまでトラブルの事例などのネガティブな情報発信が多かったが、今年度からは住まいづくりの楽しみといったポジティブな情報も積極的に発信していきたい。

<戸建住宅分科会について>

- ・ホームページ化の他、外部への情報発信を主な活動とする。
- ・昨年度まとめた原稿については、8 月末までを目処に運営委員会で査読中。
- ・ホームページ化については今年度中を目標としている。文章が多いので、挿絵等の作成が課題。

<サステナブル住宅分科会について>

- ・サステナビリティに関して、省エネルギー・省 CO₂ の他、長寿命、環境共生、バリアフリー、健康増進など、新築・既存の枠にとらわれずに活動を行う。
- ・切り口が非常に幅広いため、実際に住宅を購入する人の目線で情報を整理していく。
- ・大会における市民向けセミナーで検討成果を情報発信することを具体的な成果目標とする。

6. 住まいづくり市民セミナー@富山の企画（資料 1-5, 1-6）

- ・9 月 12 日（日）13:20～16:45 に富山明治安田生命ホールにて開催予定。
- ・基調講演ではマリ・クリスティーヌ氏（45 分）、シンポジウムでは山本主査を含む 4 名の講演（各 20 分）がある。
- ・チラシは渡邊委員と東京電機大学渡邊研究室学生の協力のもと作成。現在、情報事業部会ホームページにて市民セミナーを案内中。
- ・事務局の大会準備の負担を考慮し、今回のセミナーは事前参加申し込み制とはしなかった。質問事項は事前に FAX・ハガキで申し込めることを案内している。

7. (財)建築行政情報センターからの依頼について

- ・建築行政情報センターから、建築基準法を市民向けに分かりやすくまとめたテキストの作成、および講習会（2011 年 3 月を予定）の実施協力の依頼があった。
- ・情報事業部会のマンパワーを考慮すると、短期間でまとめるのは困難。支援事業部会連携事業分科会（主査：東洋大学浦江真人准教授）に検討していただくよう依頼する。

8. 今後の活動について

- ・次回の戸建住宅分科会は、9 月 17 日（金）18 時～20 時に開催する。
- ・次回のサステナブル住宅分科会は、9 月 14 日と 16 日で日程調整する。
- ・次回の情報事業部会は、11 月に開催予定。後日、日程調整する。

以上